

令和5年度第2回花巻市健康づくり推進協議会 会議録

1 開催日時 令和5年12月1日（金）午後1時～2時15分

2 開催場所 花巻保健センター 2階 集団指導室（花巻市南万丁目970-5）

3 出席者 計 20名

(1) 委員 14名

中館一郎委員、菊池初江委員、佐藤雅子委員、狩野敦史委員、阿部信洋委員、松本祥子委員、鎌田愛子委員、小田島克久委員、伊藤清子委員、菅原志麻委員、小瀬川ちはる委員、松本弘子委員、渡邊富美子委員、菊池孝進委員

(2) 欠席した委員 6名

佐藤道輝委員、佐藤貴哉委員、佐藤大峰委員、工藤直人委員、高橋京子委員、北村義剛委員

(3) 事務局 6名

健康福祉部次長 阿部勇悦、健康づくり課長 長山義博、同課課長補佐 久保田和子、同課長補佐 蟹澤容子、同上席主査 佐藤峰子、同主任 菊池菜摘

4 協 議

第2期花巻市自殺対策計画（素案）について

5 議 事 録

(1) 開 会（事務局：久保田課長補佐）

お待たせいたしました。ご案内の時間となりました。只今より、令和5年度第2回花巻市健康づくり推進協議会を開会いたします。

皆様におかれましては、ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。

開会に当たりまして、健康福祉部長次長の阿部よりご挨拶を申し上げます。

(2) あいさつ（阿部健康福祉部次長）

本日は師走のお忙しい中、花巻市健康づくり推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また皆様方には、日頃から、本市の健康づくり施策へのご支援ご理解ご協力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

この健康づくり推進協議会は、市民の健康づくり推進に向けて設置しているもので、健康づくりや生活習慣病予防に必要な取り組みなどに対して、委員の皆様からご意見をいただくために、毎年度開催しております。

今年度につきましては、令和6年度から令和10年度を計画期間とする「第2期花巻市自殺対策計画」の策定に関し、ご意見を伺うために3回の会議を予定しており、本日は、その2回目となっております。

本日の会議ですが、前回9月28日の会議でお示した自殺対策計画の骨子案について、皆様からいただいたご意見を始め、自殺対策ネットワーク会議の委員の皆様の声をもとに、市が作成しました第2期花巻市自殺対策計画の素案についてご審議いただきたいと思っております。

市では本日の会議結果を受けて、最終案を仕上げたいと考えておりますので、それぞれの立場で忌憚のないご意見をいただくよう、お願い申し上げます、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局：久保田課長補佐)

ありがとうございます。阿部次長については、本日開会しました花巻市議会12月定例会に対応のため、ここで退席となります。

(阿部次長退席)

ここで、本日の出席状況を報告させていただきます。

本日は花巻市健康づくり推進委員20名中14名の方にご出席いただいております。ご出席の委員の皆様においては、最後までご審議方よろしく願いいたします。

(3) 議 事 (事務局：久保田課長補佐)

それでは、3の協議に移らせていただきます。

会議の議長は、要綱第4条第2項の規定により会長となっておりますので、中館会長よろしく願いいたします。

【協 議】 (進行：中館会長)

皆様、ご苦勞様でございます。よろしく願いいたします。

会議に先立ちまして、皆様にお諮りします。花巻市の審議会等の会議に公開に関する指針に則りまして、本会議を公開することを承認いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

異論がないようなので、本会議は公開で進めたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは、次第の3協議に入ります。

第2期花巻市自殺対策計画（素案）について、事務局より説明をお願いします。

（事務局：蟹澤課長補佐より、「第2期花巻市自殺対策計画（素案）」について、資料に基づき説明）

（中館会長）

それでは、今の説明について、委員の皆様からご意見・質疑等をお願いします。

（菊池孝進委員）

自殺の自殺率と死亡率についてですが、資料4ページで花巻市は県より高く、人口10万対で26.7という数字です。保健所の方が来ているので分かると思いますが、全県的に花巻市のレベルはどうか、何か情報はありますか。

（佐藤雅子委員）

中部保健所管内で見ても、県よりも高めです。年次推移も、花巻市から報告があったように、県より花巻市の方が高くなっており、この数字の通りです。

私の方で気づいた点を伝えさせていただきます。令和4年の自殺死亡率について、全国の公表値で整理したとのことですが、全国17.4、岩手県21.3ではないか再確認をお願いします。また、花巻市の数値の出典が保健福祉年報となっておりますが、令和4年の保健福祉年報はまだ出ていないので、花巻市で算出した数値ではないかと思えます。（3）の自殺死亡率と、自殺者数についても、令和4年の保健福祉年報がまだ出ていないことから、出典の訂正をお願いします。

（蟹澤課長補佐）

人口動態統計について、令和4年分は保健福祉年報ではなく、e-stat（イースタット）*で公表されている数値を使用しましたが、やはり修正が必要でしょうか。

*各府省党が公表する統計データを一つにまとめ、検索できる政府統計の総合窓口

(佐藤雅子委員)

e-stat(イースタット)でも、市町村別はまだ公表されていないと思いますが、今確実なことをお伝えできないので、再確認いただくようお願いします。

(蟹澤課長補佐)

それでは確認して、修正が必要な場合は、修正させていただきます。

(菊池孝進委員)

インターネット検索で、市町村別は見つけれなかったが世界的データで、世界で一番、自殺率が高いのは隣の韓国で、日本はその大体4つ下だった。ネットの情報では、韓国の自殺率は2021年実績で人口10万対26.0。2021年は、花巻の自殺率が一番低かった年であった。つまり花巻は、自殺率世界1位の韓国と同じ位の自殺率ということだが、そういう認識を持って、この計画を作っているのかお聞きしたい。

(長山課長)

おっしゃる通りです。自殺率が高いということを私達も認識しているので、皆様のご意見をいただきながら、この計画を策定している現状でございます。

(菊池孝進委員)

前回の計画に増して強化した対策など、あるのか伺いたい。

(長山課長)

全体的な強化について、先ほど構築の仕方から説明しましたが、ネットワークの強化が最重要で要だと捉えております。取組としては、市のみならず関係機関、そして市民の方と連携できる部分を検討、ネットワーク構築していくこととしております。

(蟹澤課長補佐)

追加で説明させていただきます。今課長が話した通りですが、前回の計画は庁内の関係課が取り組む内容を主でまとめたものでした。今回の計画は、庁内はもちろん、関係機関や市民の方にも取り組んでいただけるよう、さらに具体的な取組を挙げ、確実に取組を進めるための評価指標を設けた上で、進捗状況を評価しながら推進することにした点が、前回の計画と大きく変わっています。また子ども・若者への対策と、女性への対策も項目を分類し、取組を追加している点も前回との大きな違いです。

(中館会長)

ご質問の方よろしいでしょうか。市は、その点を踏まえて、進めてください。
他にご質問はないでしょうか。

(小瀬川ちはる委員)

三次予防、遺族へのアプローチについて、中部保健所と健康づくり課がやっているようですが、令和4年度は年1回、令和9年は2回と指標が書かれています。令和4年度は遺族の方で交流会に来た家族は、何人位でしたか。

(蟹澤課長補佐)

記載の通り、保健所主催のもので中部保健所が周知を図っていますが、さらに市も広報等で周知しております。具体的な数値は、中部保健所から回答お願いします。

(佐藤雅子委員)

自死遺族交流会は、コロナ禍前は毎月開催しておりましたが、この3年間はコロナ禍により、年1回か2回位しか開催できませんでした。今年度は6回ほど計画しております。参加人数につきましては、1回につき数名参加している状況です。

(小瀬川ちはる委員)

40代から50代の年代層の自殺者が多い中で、思春期を迎えているお子さんたちが親の自殺にショックを受けて、学校に行けない状況を耳にしたことがあります。中部保健所の自死遺族交流会は、例えばスクールカウンセラーは常時いらっしゃるのでしょうか。

(佐藤雅子委員)

今保健所で開催している交流会には、スタッフとして保健所の職員が入っています。基本的なイメージとしては、保健所職員がファシリテーターで、情報が漏れることなく参加した方々が安心して語れる場を提供していると捉えていただきたいと思います。スクールカウンセラーについては、学校サイドの取り組みになると思います。

(小瀬川ちはる委員)

実際、自殺に関して学校に行けない中学生や高校生もいることも踏まえ、あそこに行くことができるといふ場が広がってくれば、学校にも行ける状況になるのではないかと
思うため、遺族のケアも手厚くとしていただければと感じているところです。

(中館会長)

交流会の後の道筋も示してほしいという意見だと思いますので、その辺のご検討もしていただければと思います。他にご意見とかご質問とかありますでしょうか。

(渡邊富美子委員)

資料30ページ、子ども若者への対策の中に、心と体の健康観察の実施が上がっていますが、以前、県の方で、震災等のストレス状況を把握することを目的に、同じ名称で、心と体の健康観察を8年位続け、現在、終了しているものがあります。素案にある、心と体の健康観察の内容について紹介していただきたいです。

(佐藤上席主査)

心と体の健康観察は、市の学校教育課が担当しており、県からの通知を受け、アンケートや教育相談、SOSの出し方教育を実施するものです。当市では、市内の全小・中学校で取り組んでいます。

(渡邊富美子委員)

県から通知が来ているということであれば、震災の関係で実施した時には、転校先や進学先に送付していましたが、現在も同じでしょうか。

(松本弘子委員)

現在も送付されています。

(中館会長)

他にご質問、ご意見ございますか。

(佐藤雅子委員)

私の方から気付いた点ですが、資料5ページの花巻市における自殺リスクが高い対象群について、出典が地域自殺実態プロファイルとなっています。出典元では、地域の主な自殺者の特徴を出すにあたり、自殺実態白書2013を参考に危機経路のライフリンクを推定しており、「記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい」と注意書きが入っております。出典元の留意点を明記するようお願いしたい。もう1点、資料8ページまちづくり市民アンケートの「生きがいを持って暮らしていますか」「心身ともに健康だと思いますか」で、年代により違う特徴が出ているのかなと

思います。自殺者が多い高齢者や女性、若年層の傾向について分かる範囲で教えていただきたい。

(蟹澤課長補佐)

「まちづくり市民アンケート」は毎年とっているものだが、全体的なまとめ方をしていないため、年代別は改めて見直さないと出ないところです。出典元の注意書きにつきましては確認のうえ、掲載させていただきます。

(中館会長)

他に何かご意見とかご質問はありますか。

(菊池孝進委員)

市役所関係庁内で関係機関の連携という一言で終わっていますが、実際どのような連携をされているのか気になります。各関係課で、例えば市民税の滞納者や水道料金の未納者、対象年齢なのに健康診断を全然受けていない方とか、様々な事案をそれぞれ持ち寄って、自殺リスクの高い人を選定して具体的に支援するとか立ち入ったところまでやっているのでしょうか。単なる情報交換では効果が上がらないと思います。

もう一つ、高齢者の自殺が非常に多い。60代以上の年代は、どこか疾患を抱えている方が多いはずなので、病院の先生に相談することや、薬の処方の際、薬局の薬剤師が本人の状況を聞くこともあると思います。そういう意味では、薬剤師向けにゲートキーパー研修をやって貰い、危険な方を医療なり行政なりへ結びつけるような流れがないと、高齢者の自殺はなくならないと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

(蟹澤課長補佐)

貴重なご意見ありがとうございます。お尋ねの庁内連携を具体的にどのように進めているかについてですが、自殺対策の庁内の集まりとして、自殺予防推進会議があります。会議では、心配な方がいた際に担当課である健康づくり課だけでなく全庁的な相談窓口や手続き窓口が協力し、必要な関係課に繋ぎながら一緒に支援していけるよう情報共有を図っております。以前、生活が大変で納税等が難しいという方が市の窓口に来所した際、健康づくり課にも相談があり、自殺予防の具体的なアドバイスを行ったことに加え、必要に応じ保健師が窓口に出向くといった対応をしたことがあります。今後も、会議で情報を共有しながら、実際の具体的な連携も進めていきたいと考えているところです。

もう一つ、薬局の方はおっしゃる通りだと思います。薬を処方する中で、聞いたお話や、気にかける必要がある薬を処方されているなど、薬剤師の皆さんは様々な情報をお持ちだと思います。薬剤師会の皆様については、自殺予防に限らず様々な連携の中で協議する場がありますので、そちらでも実際の意見を伺い、ご相談しながら取り組みを進めていきたいと思っています。

(中館会長、別件用務のため、議長席から自席に戻り、退席)

(事務局：久保田課長補佐)

委員の皆様にご連絡いたします。お手元の「花巻市健康づくり推進協議会設置要綱」をご覧ください。同要綱4条第2項に、「会長は、会務を総括し、会議の議長となる。」とあり、第3項には、「副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、又は欠けたときは、その職務を代理する。」とあります。この第3項の規定によりまして、本日の以降の議事にかかる議長につきましては、副会長が代行することとなります。菊池副会長よろしく願いいたします。

(菊池副会長、自席から議長席に移動)

【協 議】(進行：菊池副会長)

ただいま事務局から説明いただいたとおり、規定に基づき、議長の職務を会長から引き継ぎます。

それでは、協議を再開します。ほかに、委員の皆様からご意見・質疑等はありませんか。

(佐藤雅子委員)

今ご質問があった薬局のゲートキーパーの話は、資料の21ページ以降、基本施策の担当課、関係機関等に関する質問だったと思う。中部保健所でも保健所の方で各関係機関を設定している。要は幅広い取りまとめには限界があるため、ネットワーク会議の構成機関団体から毎年、取組内容を報告していただき、それを取りまとめている。その中で薬剤師会は、早い段階から各支部でゲートキーパー養成講座に取り組んでおり、花巻市薬剤師会でも、取り組んでいると報告をいただいている。

合わせて、担当課関係機関に中部保健所を入れていただいているが、取りまとめはどのようにされたのか。各機関団体の取組についても、まとめて整理したものなの

か、この項目を実施しているのは、この関係機関団体ですという視点で取りまとめたのか、整理の仕方を教えていただきたい。

例えば資料22ページに、こころの健康に関する普及啓発と精神保健福祉に関する普及啓発とありますが、この違いは何なのでしょう。精神保健福祉に関する普及啓発は精神科医療機関のみ記載されていますが、おそらく関係する取組は多数あると思われます。資料21ページのネットワーク強化についても、担当課は健康づくり課だと思うが、担当課関係機関を記載するとなると、なかなか難しいと思う。この辺の取りまとめについて、どのように整理されたのか教えていただきたい。

(佐藤上席主査)

担当課、関係機関の取りまとめについては、庁内の関係課、関係機関ともにヒアリングを行い、取り組みをまとめました。精神保健福祉に関する普及啓発は、国立花巻病院の相談員へヒアリングを行い、記載しています。

(佐藤雅子委員)

担当者からヒアリングする際は、組織としての意見を報告いただく方が、担当者の負担が軽減されると思う。おそらく、現在関係機関へ意見照会中だと思うが、併せて、関係機関の取組内容を入れることについて吟味いただきたい。取組を広げていくのが難しい関係機関もあると思うので、この点ご検討いただけるとありがたい。最後に資料26ページの高齢者の取り組み、女性への取り組みについてだが、特に自殺死亡率が高い高齢者の孤立・孤独化防止の対策として、介護予防等と連携した取組がかなり重要になると考えるので、引き続き関係機関と連携を図りながら、取組を進めていただきたいです。

(蟹澤課長補佐)

先ほどの担当課関係機関の部分は、市が主となっている部分から構築しているところですが、確かに、内容を書くことについて、これでは足りない、またはここに書かれるのは好ましくないということもあると思うので、関係機関と連絡を取りながら、精査を進めてまいりたい。

(菊池副会長)

他に何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

(菊池孝進委員)

素案の表紙について、現在、「第2期自殺対策計画」とタイトルが大きく記載されているが、非常に重苦しく感じる。印象を柔らかくするため、資料14ページに基本理念として掲載している「いのち支えるはなまき」をタイトルのうえに追記してはどうか。また、作り方についてだが、全体的に字が小さく余白が多い。高齢者も見ると計画だと思ってしまうので、もう少し字を大きくするなど、作り方を考えてほしい。

(長山課長)

計画の体裁は、今後、整えていきたいと思う。

(菊池副会長)

他に、ご意見等がなければ、以上で、3 協議を終了いたします。これで議長を退任します。

(菊池副会長は、議長席から自席に戻る)

(4) その他(事務局：久保田課長補佐)

次に、4 その他ですが、皆さまから、何かございますか。
ないようでございます。

5 閉 会(事務局：久保田課長補佐)

それでは、これをもちまして令和5年度第2回花巻市健康づくり推進協議会を閉会いたします。

第3回の協議会は、年明けの開催を予定しておりますが、日程について、現時点で未定であります。日時が決定次第、追ってご案内いたしますので、次回も是非、ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたり熱心に議論いただき、誠にありがとうございました。